



「今朝の私」

保育園の先生に、お願ひします！と我が子（5歳三女）を預けて駆け足で数歩進んだ瞬間、私の体はバターンとタイル張りの通路に打ち付けられた。あわてて娘から離れようとして、自分のズボンに反対の足が引っ掛けたって転倒したようだ。大きな音がしたのかもしれない、そばにいたお母さんが、大丈夫？！と声をかけてくれるけど恥ずかしさで顔がまともに見れない。。痛みより、恥ずかしさが勝るものなんだなあと職場に向かいながら思った。

私には19歳、16歳、5歳の3姉妹がいます。長女は大学生で一人暮らし中です。

毎朝次女の弁当を用意しつつ、三女の支度をします。夫は泊まり勤務で朝はいないことが多いです。三女は家では好きなことをしていたいらしく、毎日、行きたくない～、早く迎えに来れる？等々色々言っては、なかなか準備が進みません。でも本人の希望通り早く保育園に迎えにいくともっと遊びたい、と言って帰らないし、友達の話もよくするので園生活は楽しんでいる様子です。

朝はなんとか口におにぎりや果物を入れてやり、寝転んでいるところを着替えさせ、歯をみがきます。

次女のお弁当は、昨日の残りや冷凍食品を使ったり、コンビニで買ってお金を渡すこともあります。

今朝は昨日の豚汁&おにぎりだけ。次女に、「これだけでごめんよ」と言うと、「昼はそれくらいの量がいいんよ」とのこと。私はついついしかりした弁当を用意してやれないことに罪悪感みたいな後ろめたさを感じてしまいます。

でもでも、これを書きながら思い出したことがあります。

次女のスープジャーを買うとき、彼女はあったかいみそ汁とおにぎりが一番おいしいんよって言っていたこと。そしてお昼ごはん用のお金渡した日はどうしているのか聞くと、「学食のオムライス、安くておいしいよ」と聞いて 彼女なりに渡されたお金の中でやりくりしてるんやなぁ、とうれしく思ったこと。そう思うと毎朝このバタバタの中で私よくやってるかも、と思い直しました。

子どもたちに対してやってあげたい理想みたいなものが無意識にあるのかもしれません、それから外れてしまうと子どもたちに対してごめんよと思ってしまったり。でも、私、ちょっと待って、子どもたちすくすく成長しているよ。

長女は一人暮らしで料理に興味をもつようになり、なにより自分の進む道について考えていることだろう。

次女は アルペイトをするようになり、バイト先で教えて頂きながら、少しずつお金をかせぐことのしんどさも知りつつある。三女は、保育園に迎えに行くと、「むっちゃんに会いたかった？むっちゃんはママに会いたかったよ」と言ってくれる。全て当たり前の普通の成長かもしれません。

でも今思うと、バタバタして怒ってる私や〇〇してやればよかったと落ちこんだ夜の私のそばで、三人共大きくなつたんだなあと思います。決して自分一人の力ではないけれど、よくやってきたなあと思います。

これからも、バタバタしながら、心配しまくりながら、だけどまあそれでいいか、と思います。

とにかく今朝の私、よく頑張りました。

PN むっちゃんの母

このコーナーはぐるんばママの「つぶやき」を随時
掲載します。お楽しみに！投稿も大歓迎です！